

いきいき輝こう！

かぐら
神楽のふるさと・石見で
日本のことを
楽しく学ぼう！



あ
スイカ割りや神楽体験

まがたま

勾玉づくりや、山の中でレクリエーションも！

そどく りつよう おか
素読・立腰・和歌づくり！



三瓶山

会場のある大田市の五十猛町は、スサノオノミコトの子孫、イソタケルノミコトが降り立った地として知られています。日本を緑豊かにしてくれた樹木の神様のゆかりの土地で、日本の素晴らしさを楽しく学びましょう♪

まほろば合宿が
めざすこと

人のお役に立とう！
真心を尽くす人になろう！

まほろば合宿で
できること

本物にふれる経験
親子での共通体験

詳しくは裏面をご覧ください

日時：8月23日（土）13時30分～24日（日）14時

場所：国立三瓶青少年交流の家（島根県大田市山口町1638-12）

対象：小学生（親子でのご参加を基本としています。3年生以下は保護者同伴必須です。）

参加費：13,000円（兄弟は2人目から11,000円）

定員：50名（大人含む）※定員になり次第締め切らせていただきます。

締切：8月12日

お申し込み：

①右のQRコードからLINEで申し込み

②メールにて、件名に「まほろば合宿参加希望」と記載の上
お名前をお送りください。

広島市内からの
送迎バス（有料）あり



お申込み

詳細・お申し込みは

以下からお願いします



合宿参加のおさそい

認定NPO法人

まほろば教育事業団会長 **秀道広**



江戸時代末期、わが国には、寺小屋等の私塾が2万5千以上もあったといわれています。幕末の日本に訪れた外国人の多くが、日本人の識字率の高さや、人格的な素晴らしさに感動したのも、そうした学問の土壌があればこそであり、明治という新しい時代の扉を開く力になったものと思われまふ。

まほろば教育事業団は、そうした長い伝統の中で培われた民間教育の土壌を再興しようと平成十七年に設立、各地で歴史や伝統行事に親しむ行事を開催し、これまで延べ約7千名が参加し、巣立っています。

「まほろば」とは「美しいふるさと」という意味で、古代建国の英雄ヤマトタケルノミコトが、ふるさとの美しい自然と人々のあたたかな絆を称えた言葉です。私たちは、合宿参加者の一人ひとりが、美しい日本の心を育み、先人の生き方に学び、やがてこの国のリーダーとして、幕末、維新の志士のように、世界に羽ばたく日本人に成長してくれることを祈りつつ、共に切磋琢磨したいと願っています。

合宿へのご参加、心よりお待ちしております。

「ふるさとプレゼンコンテスト」を開催しています。
ご興味のある方は以下のHP
をご覧ください。



まほろば合宿の特徴

まほろば合宿では、二つの柱を掲げて運営しています。

「まごころを尽くす人になろう!」

まごころを尽くせば心は必ず通じるという意味です。大きな目標ですが、まずはスタッフとともに、目の前のことに一所懸命に取り組むことから始めたいと思います。

「人のお役に立とう!」

誰かのために、何かのために行動できる人になりたいものです。合宿の中で、気づきと実践を促す指導を行います。

特徴ある取り組み

素読(そどく)

古今の詩歌、漢文、先人の言葉などを声を出して読みます。習った時にはその言葉の意味が理解できなくても、その後の人生の中で様々な体験を積むことで、先人の言葉が栄養となり人格を形成していきます。

立腰(りつよう)

腰骨(こしほね)を立てる姿勢を保つ指導を行います。立腰の姿勢をとることで、「やる気」や「けじめ」を培い、何事にも強い意志を持って取り組む子供、自ら主体的に活動する子供、節度ある生活が送れる子供を育てます。

和歌づくり

日本に永く受け継がれてきた五七五七七の型に、自分の思いを込めていきます。和歌づくりを通して、周りの人への感謝の思いや自然の美しさに気づく感性が養われていきます。和歌によって刻まれた思い出は、子供達の一生の宝物となります。

子供たちの感想 和歌

「命」は、昔のご先祖さまたちからもらっています。なので、「命」を大切に、これから先、ご先祖さまの気持ちを考え、生きていこうと思います。(小5・男子)

普段学校では習わないようなことも学ぶことができてよかったです。飯盒炊飯では、みんなと協力しておいしいカレーをつくるのができて楽しかったです。(小5・女子)

星空は みればみるほど きれいだな

星座いっぱい いっぱいさがそ (小1・女子)

保護者の皆様へ

日本の神話を中心に、美しい伝統文化にふれ、日本の大切な心を深めて参ります。合宿の中では、子供達が発見・感動・挑戦体験を通して、生き生きと輝く自分(自己の可能性の発見、自己信頼感)を実感するための体験型プログラムを実施します。特に美しい日本の心を、次代を担う子供達に伝えていくための学習を展開いたします。

注意事項

○ 班単位での行動を基本としています。身の回りの世話
は自分で行っていただきます。

○ 原則として保護者も一緒にご参加ください。低学年
(3年生以下)は必須です。高学年で同伴が難しい場合は
ご相談ください。

○ 合宿事務局ではお子様の服薬の対応は行いません。